

令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(川本北小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
川本北小	下回った	下回った	上回った	上回った	下回った	下回った
埼玉県	63.6	62.7	60.8	63.9	63.0	56.5

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
川本北小	6-C	7-C	7-B	5-B	6-C	6-B
埼玉県	6-C	7-C	6-B	5-C	6-C	6-B

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
川本北小		4	3		3	1
埼玉県		3	2		2	1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		川本北小	埼玉県	川本北小	埼玉県	川本北小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	85.7	86.8	83.6	86.5	86.4	81.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	85.7	82.6	72.1	75.5	84.9	74.3
	・はっきり挨拶をすることができる	89.8	80.3	82	77.4	87.8	77.7
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	87.7	82.1	83.6	81.8	91	85.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	91.9	86.4	90.1	84.6	84.9	85
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	53	45.6	47.6	43.3	40.9	45.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	65.3	55	64	59.4	59.1	58.4
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	26.5	27.3	16.4	20	21.2	17.3
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	69.4	70.2	60.7	72.1	83.3	76.1
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	77.6	76.2	73.8	69	83.3	64.9
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	73.3	73.5	55.8	68	66.7	65.2
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	81.7	77.6	59	77	68.2	75.6
	・授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	12.3	17.8	9.85	16.4	15.1	17.6
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	47	24.8	59.1	24.3	57.6	24
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	98	90.4	88.6	91.7	94	92
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	93.9	90.6	93.5	92.3	87.8	92.6
	・学級での生活は楽しい	95.9	93.6	86.9	91.2	95.4	90

【質問紙分析】

- ・「深谷の子6つの誓い」について、どの学年も平均を上回っている項目が多い。特に4年生は、全ての項目が県平均を上回り、校内で行っている「深谷の子6つの誓い」の取組の成果が出ていることが分かる。
- ・6年生の学習等への関心では、全ての項目が県平均を上回り、学習の関心の高さと点数が比例していることが分かる。
- ・授業についての項目で、県平均を下回っている項目が多かったので、授業改善、指導力向上に向けての研修が必要となる。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・校内で県学調の研修を行い、授業改善や個に応じた支援など具体的な対策を考え、授業に生かすことができた。
- ・市内で取り組んでいる学力向上プロジェクトに積極的に取り組んでいた。

【国語】

- ・月1回暗唱テストを行った。
- ・読書をたくさんするように、おすすめの本の紹介や読書月間などの工夫を図った。
- ・短時間でできる新聞のコラム学習を行った。(高学年)
- ・漢字習得のために10問テストや50問テストに取り組んだ。又、再テストも行った。

【算数】

- ・算数では、全クラスでTT授業体制をとり、すべての児童が理解できるように隈なく指導した。
- ・学校研究でICT機器の効果的な活用についての研修を行い、授業に生かすことができた。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・今年度の学校研究課題である「表現力」を伸ばせるように、全職員が研修で学んだことを授業に生かせるようにする。
- ・学習方略、非認知能力から児童、学級の傾向を掴み、指導の工夫をする。
- ・学級懇談会や教育相談等で分析結果を説明し、家庭からの協力を仰ぐようにする。